

< 表 面 >

管理番号

### 廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年5月25日

記入者 西村 昭生

1 排出事業者	名称	京都府流域下水道事務所	所属	施設管理課	
	所在地	〒617-0836 京都府長岡京市勝竜寺樋ノ口1番地	担当者	堀口 郁夫	TEL 075-954-1879 FAX 075-955-2224
2 廃棄物の名称	洛西浄化センター 下水道 燃え殻・煤塵				
3 廃棄物の組成・成分情報  (比率が高いと思われる順に記載)  <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	五酸化リン(33%) 他 二酸化ケイ素(21%)			
		MSDSがある場合、CAS No.			
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input type="checkbox"/> その他( )				
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等				
<input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)				
5 特定有害廃棄物  ( )には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△  <input checked="" type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 ( × ) トリクロロエチレン ( × ) 1,3-ジクロロプロペン ( × ) 水銀又はその化合物 ( × ) テトラクロロエチレン ( × ) チウラム ( × ) カドミウム又はその化合物 ( × ) ジクロロメタン ( × ) シマジン ( × ) 鉛又はその化合物 ( × ) 四塩化炭素 ( × ) チオベンカルブ ( × ) 有機リン化合物 ( × ) 1,2-ジクロロエタン ( × ) ベンゼン ( × ) 六価クロム化合物 ( × ) 1,1-ジクロロエチレン ( × ) セレン ( ○ ) 砒素又はその化合物 ( ○ ) シス-1,2-ジクロロエチレン ( × ) ダイオキシン類 ( × ) シアン化合物 ( × ) 1,1,1-トリクロロエタン ( × ) 1,4-ジオキサン ( × ) PCB ( × ) 1,1,2-トリクロロエタン ( × )				
6 PRTR対象物質	届出事業所 ( 該当・非該当 )、委託する廃棄物の該当・非該当 ( 該当・非該当 ) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。				
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)				
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン				
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)				
8 その他含有物質  ( )には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△  <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 ( ○ ) 塩素 ( × ) 臭素 ( × ) ヨウ素 ( × ) フッ素 ( △ ) 炭酸 ( × ) 硝酸 ( × ) 亜鉛 ( △ ) ニッケル ( × ) 銅 ( △ ) アルミ ( ○ ) アンモニア ( × ) ホウ素 ( △ ) その他 ( )				

9	有害特性 (有 <input checked="" type="radio"/> 無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性( °C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性( °C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他( )
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(粉末)    臭い(なし)    色(薄褐色)    比重( )    pH( ) 沸点( )    融点( )    発熱量( )    粘度( )    水分( )
11	品質安定性	経時変化(有 <input checked="" type="radio"/> 無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭
13	荷姿	<input type="checkbox"/> 容器( ) <input checked="" type="checkbox"/> 車両(バラ) <input type="checkbox"/> その他( )
14	排出頻度 数量	頻度(スポット <input checked="" type="radio"/> 継続予定) (620) kg・t・リットル・m <sup>3</sup> ・本・缶・袋・個    /年・月・週・日
15	特別注意事項 (有 <input checked="" type="radio"/> 無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部分有・サンプル無・写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等  
市町から流入した下水の処理で発生する汚泥を流動床焼却炉で焼却した際に発生する燃えがら・ばしじん

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

# 試験成績報告書

京都府流域下水道事務所  
所長 岸田 二彦 様

試料採取場所：洛西浄化センター  
試料採取日：令和4年11月1日  
試験年月日：令和4年11月1日 ~ 令和4年11月18日  
試料由来：持ち込み  
試料採取者：日本メンテナンスエンジニアリング株式会社

計量証明事業登録  
京都府知事(濃度)第1050号  
日本メンテナンスエンジニアリング株式会社  
大阪市北区同心1丁目7番14号  
環境試験所 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田10番地9  
TEL075(959)0705 FAX075(951)0886  
環境計量士 中井 政典  
(登録番号 第5292号)



ご依頼を受けました試料の試験結果は、下記の通りでございます。

試験項目	試験方法	試料名	焼却灰(ばいじん) 〔溶出試験〕埋立処分 (海面埋立処分を除く)	報告下限値
水銀又はその化合物	mg/L	環境庁告示第59号付表2	< 0.0005	0.0005
カドミウム又はその化合物	mg/L	JIS K0102-55.3	< 0.001	0.001
鉛又はその化合物	mg/L	JIS K0102-54.3	< 0.006	0.006
有機リン化合物	mg/L	環境庁告示第64号付表1	< 0.01	0.01
六価クロム化合物	mg/L	JIS K0102-65.2.1	< 0.04	0.04
砒素又はその化合物	mg/L	JIS K0102-61.3	0.005	0.005
シアン化合物	mg/L	JIS K0102-38.1.2, 38.5	< 0.1	0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	JIS K0093-5, 6備考4	< 0.0005	0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.008	0.008
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
ジクロロメタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
四塩化炭素	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0002	0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0004	0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.004	0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.03	0.03
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0006	0.0006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0002	0.0002
チウラム	mg/L	環境庁告示第59号付表5	< 0.0006	0.0006
シマジン	mg/L	環境庁告示第59号付表6第1	< 0.0003	0.0003
チオベンカルブ	mg/L	環境庁告示第59号付表6第1	< 0.002	0.002
ベンゼン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.001	0.001
セレン又はその化合物	mg/L	JIS K0102-67.3	< 0.001	0.001
1,4-ジオキサン	mg/L	環境庁告示第59号付表8	< 0.005	0.005
			—以下余白—	

本試料は環境庁告示第13号(イ)に基づき、純水を用いて溶出液を作成した。  
「<」は未満を表す。

## 試験成績報告書

京都府流域下水道事務所  
所長 岸田 二彦 様試験採取場所：洛西浄化センター  
試験採取日：令和4年11月1日  
試験年月日：令和4年11月1日 ~ 令和4年12月5日  
試験由来：持ち込み  
試験採取者：日本メンテナンスエンジニアリング株式会社

計量証明事業登録

京都府知事(濃度)第1050号

日本メンテナンスエンジニアリング株式会社  
大阪市北区同心1丁目7番14号

環境試験所 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田10番地9

TEL075 (959) 0705 FAX075 (951) 0886

環境計量士

中井 政典

(登録番号 第5292号)

ご依頼を受けました試料の試験結果は、下記の通りでございます。

試験項目	試験方法	試料名	焼却灰(ばいじん) 〔含有試験〕			報告下限値
			wet	dry	酸化物	
ヘキサン抽出物質	%	下水試験方法5.1.24	< 0.5	< 0.5	-	0.5
含水率	%	下水試験方法5.1.6	< 0.01	-	-	0.01
熱しゃく減量	%	昭和52年11月4日府令第35号厚生省水道環境部環境整備課長通知	0.25	-	-	0.01
けい素 (SiO <sub>2</sub> )	%	下水試験方法3.2.28	9.76	9.76	20.9	0.01
アルミニウム (Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )	%	ICP発光分光分析法	5.98	5.98	11.3	0.01
鉄 (Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )	%	ICP発光分光分析法	3.46	3.46	4.95	0.01
カルシウム (CaO)	%	ICP発光分光分析法	6.83	6.83	9.55	0.01
マグネシウム (MgO)	%	ICP発光分光分析法	3.39	3.39	5.62	0.01
硫黄 (SO <sub>3</sub> )	%	下水試験方法5.1.22	0.22	0.22	0.54	0.01
ナトリウム (Na <sub>2</sub> O)	%	ICP発光分光分析法	0.33	0.33	0.44	0.01
カリウム (K <sub>2</sub> O)	%	ICP発光分光分析法	1.50	1.50	1.80	0.01
チタン (TiO <sub>2</sub> )	%	ICP発光分光分析法	0.02	0.02	0.03	0.01
リン (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )	%	下水試験方法5.1.19	16.7	16.7	38.3	0.01
マンガン (MnO)	mg/kg	ICP発光分光分析法	2270	2270	2940	2
塩素	%	下水試験方法5.1.21	< 0.01	< 0.01	-	0.01
クロム	%	ICP発光分光分析法	< 0.01	< 0.01	-	0.01
鉛	mg/kg	ICP発光分光分析法	9	9	-	3
砒素	mg/kg	水素化物発生ICP法	28.9	28.9	-	0.1
セレン	mg/kg	水素化物発生ICP法	< 0.1	< 0.1	-	0.1
水銀	mg/kg	「底質調査方法」II・5.14.1.2	< 0.01	< 0.01	-	0.01

-以下余白-

酸化物とは、測定元素を ( ) 内の組成式に換算したものをwetで示す。「&lt;」は未満を表す。

# 試験成績報告書

京都府流域下水道事務所  
所長 岸田 二彦 様

試料採取場所：洛西浄化センター  
試料採取日：令和4年11月1日  
試験年月日：令和4年11月1日 ~ 令和4年11月18日  
試料由来：持ち込み  
試料採取者：日本メンテナンスエンジニアリング株式会社

計量証明事業登録  
京都府知事(濃度)第1050号  
日本メンテナンスエンジニアリング株式会社  
大阪市北区同心1丁目7番14号  
環境試験所 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田10番地9  
TEL075(959)0705 FAX075(951)0886  
環境計量士 中井 政典  
(登録番号 第5292号)

ご依頼を受けました試料の試験結果は、下記の通りでございます。

試験項目	試験方法	試料名	抜取灰 〔溶出試験〕埋立処分 (海面埋立処分を除く)	報告下限値
水銀又はその化合物	mg/L	環境庁告示第59号付表2	< 0.0005	0.0005
カドミウム又はその化合物	mg/L	JIS K0102-55.3	< 0.001	0.001
鉛又はその化合物	mg/L	JIS K0102-54.3	< 0.006	0.006
有機リン化合物	mg/L	環境庁告示第64号付表1	< 0.01	0.01
六価クロム化合物	mg/L	JIS K0102-65.2.1	< 0.04	0.04
砒素又はその化合物	mg/L	JIS K0102-61.3	< 0.005	0.005
シアン化合物	mg/L	JIS K0102-38.1.2, 38.5	< 0.1	0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	JIS K0093-5, 6備考4	< 0.0005	0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.008	0.008
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
ジクロロメタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
四塩化炭素	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0002	0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0004	0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.004	0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.03	0.03
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0006	0.0006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0002	0.0002
チウラム	mg/L	環境庁告示第59号付表5	< 0.0006	0.0006
シマジン	mg/L	環境庁告示第59号付表6第1	< 0.0003	0.0003
チオベンカルブ	mg/L	環境庁告示第59号付表6第1	< 0.002	0.002
ベンゼン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.001	0.001
セレン又はその化合物	mg/L	JIS K0102-67.3	< 0.001	0.001
1,4-ジオキサン	mg/L	環境庁告示第59号付表8	< 0.005	0.005
			—以下余白—	

本試料は環境庁告示第13号(イ)に基づき、純水を用いて溶出液を作成した。  
「<」は未満を表す。

# 試験成績報告書

京都府流域下水道事務所  
所長 岸田 二彦 様

試料採取場所：洛西浄化センター  
試料採取日：令和4年11月1日  
試験年月日：令和4年11月1日 ~ 令和4年12月5日  
試料由来：持ち込み  
試料採取者：日本メンテナンスエンジニアリング株式会社

計量証明事業登録  
京都府知事(濃度)第1050号  
日本メンテナンスエンジニアリング株式会社  
大阪市北区同心1丁目7番14号  
環境試験所 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田10番地9  
TEL075(959)0705 FAX075(951)0886  
環境計量士 中井 政典  
(登録番号 第5292号)

ご依頼を受けました試料の試験結果は、下記の通りでございます。

試験項目	試験方法	試料名	抜取灰 〔含有試験〕			報告下限値
			wet	dry	酸化物	
ヘキサン抽出物質	%	下水試験方法5.1.24	< 0.5	< 0.5	-	0.5
含水率	%	下水試験方法5.1.6	0.02	-	-	0.01
熱しゃく減量	%	令和52年11月4日環境第35号厚生省水道環境部環境整備課長通知	0.04	-	-	0.01
けい素 (SiO <sub>2</sub> )	%	下水試験方法3.2.28	32.3	32.3	69.2	0.01
アルミニウム (Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )	%	ICP発光分光分析法	2.19	2.19	4.14	0.01
鉄 (Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )	%	ICP発光分光分析法	1.74	1.74	2.48	0.01
カルシウム (CaO)	%	ICP発光分光分析法	2.49	2.49	3.48	0.01
マグネシウム (MgO)	%	ICP発光分光分析法	0.77	0.77	1.28	0.01
硫黄 (SO <sub>3</sub> )	%	下水試験方法5.1.22	0.03	0.03	0.07	0.01
ナトリウム (Na <sub>2</sub> O)	%	ICP発光分光分析法	0.11	0.11	0.15	0.01
カリウム (K <sub>2</sub> O)	%	ICP発光分光分析法	0.42	0.42	0.50	0.01
チタン (TiO <sub>2</sub> )	%	ICP発光分光分析法	0.03	0.03	0.05	0.01
リン (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )	%	下水試験方法5.1.19	4.42	4.42	10.1	0.01
マンガン (MnO)	mg/kg	ICP発光分光分析法	598	599	773	2
塩素	%	下水試験方法5.1.21	< 0.01	< 0.01	-	0.01
クロム	%	ICP発光分光分析法	0.01	0.01	-	0.01
鉛	mg/kg	ICP発光分光分析法	24	24	-	3
砒素	mg/kg	水素化物発生ICP法	3.5	3.5	-	0.1
セレン	mg/kg	水素化物発生ICP法	< 0.1	< 0.1	-	0.1
水銀	mg/kg	「底質調査方法」Ⅱ・5.14.1.2	< 0.01	< 0.01	-	0.01

酸化物とは、測定元素を ( ) 内の組成式に換算したものをwetで示す。「<」は未満を表す。